

後援会だより



ビューティフルパフォーマンス(エアロビサークル)

C O N T E N T S

- ごあいさつ 2
- 卒業式、旅立ちの言葉、学内スケジュール 3
- 桜蓮祭 4
- オープンキャンパス等 5
- 卒業式写真、総会のお知らせ 6

発展と期待！



新潟県立看護大学 学長 渡邊 隆

本年は法人化2年目の年を迎えております。昨年度（2013年）の本大学の法人活動に対して、県公立大学法人評価委員会看護大学部会から、2013年度の本学の教育・研究などの全体評価について「おおむね順調」という報告をいただきました。

特に評価項目の中で、地域貢献と国際交流が評価されました。地域貢献の事項では、看護研究交流センターにおける各種公開講座など、地域住民との交流促進に向けて精力的に活動した取り組みが大いに評価できるとされています。

国際交流ではベトナムのホーチミン医療科大学との包括交流協定の締結が高く評価されました。8月にはホーチミン医療薬科大学と附属病院、チョーライ病院とクイニョン市にある国立クイホア病院を訪問しました。小泉副学長とともに学生2名（3年生）も病院での看護体験を目的に、一緒に行ってきました。クイホア病院では小泉副学長と岡村先生が日本の看護についての講義も行うなど、有意義なベトナム訪問でした。その成果について学内で2月24日に報告会が行われました。一緒に行った学生さんたちの素晴らしい成果の発表がありました。

また、平成26年7月30日には本学にとって、とても素晴らしいことがありました。この日、上越市を中心とした市民、企業の有志の方々から新潟県立看護大学振興協力が立ち上げられたのです。石田誠夫会長（医療法人社団 喜修会理事長）を中心に、企業51社、個人会員35名の会で本学の一層の教育・研究の質の向上に対して地域から物心両面からの心強いサポート体制が生まれたのです。本学はこれをご厚情をうけ、ますますの努力を行っていかねばなりません。大学の教育・研究および国際交流などを重点においた支援が期待できるものと思われまます。また後援会の皆様からのお力添えもいただきたく、ご案内申し上げます。大学ホームページで「振興協力会」のところをクリックしていただけますと、詳細が掲載されております。

話は変わりますが、今年の正月早々に政府はいままでの医療の研究と開発を統一的に行う国家戦略を発表しました。独立法人「医療研究開発機構」です。米国立衛生研究所（NIH）を目指すというものです。この機構には臨床研究や創業支援、産業連携、国際研究などの部署を置き、職員約300人規模で国の研究機関などから100人、大学や企業など民間からも任期付で約200人を集めるというものです。そのメンバーとして本学客員教授の宮村達男先生も参画しています。元国立感染症研究所長でウイルス学のトップリーダーです。昨年、本学1年生を対象としたウイルス学を講義されました。学生さんたちは世界最先端の内容に感激したことでしょう。

このようにこれらの活動は、本年度につながる明るい話題です。どうか本年も皆様とともに大学は大きくステップアップをして参ります。本学のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





旅立ちの言葉

長崎

今年も例年通りの豪雪に見舞われた上越でしたが、徐々に春の訪れを感じられる頃になりました。高田公園の桜が開花する日が近づくとともに、私たち十期生の上越での学生生活もついに終わりを迎えようとしています。

大学に入学したばかりの頃は、これからの大学生活のことを思い、期待を抱く一方、不安を感じていたことを思い出します。しかし、日を重ねるごとに少しずつ友人たちとも打ち解け、いつの間にか不安もなくなりました。さらに学校行事やサークル活動を通して、同学年の学生だけではなく、先輩方との交流の輪も深めることができ、次第に大学生活にも慣れることができました。

二年次になると、一年次と違い、授業内容も専門性の高い内容や演習となり、初めての病棟実習も体験しました。継燈式では、初めてユニホームに袖を通し、これから始まっていく実習に対する期待と不安を胸に抱きながら、誓いの言葉をみんなで述べたことを思い出します。

三年次になると、五ヶ月間に及ぶ領域別実習が始まりました。二年次の病棟実習よりもさらに実践的に、より多くのことを経験することができた実習でした。実習を通して学生一人一人

が多くのことを学び、経験し、看護に対する考えや想いを深めることができたと思います。

四年次では、看護研究や就職活動、国家試験など、とても忙しく、あっという間に過ぎていった一年でした。毎日常に何かに追われ、辛くて逃げ出したくなることもありましたが、しかし、諸先生方のお力添えや、ともに励まし合い、支えあった友人たちのおかげで、辛いことも乗り越えることができました。

これからは社会人として新たな道を踏み出す人、また進学してさらなる高みを目指す人、それぞれの道を進むこととなります。仲間たちと離れるさみしさや、さらに社会人としての責務と、今まで以上の困難が待ち受けていることと思います。困難にぶつかったとき、四年間をともに過ごした仲間のことを思い出し、励みにして、困難を乗り越えていきたいと思っています。そして、この大学で得た知識や経験をもとに、幅広い視野を持ち、卓越した看護を提供できるよう、日々努力し、精進していきたいと思っています。

最後に、卒業まで私たちを支えてくださった先生方、大学職員の皆様、病院関係者の皆様、何より家族に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

平成27年度【学内年間カレンダー】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式・後援会総会(4月7日) ガイダンス(4月3日、9日) 1年次生学外オリエンテーション(4月10日、11日) 前期授業開始(4月10日)	開学記念日(5月8日)			夏季休業(8月1日～31日)		後期授業開始(10月1日) 大学祭・授業連祭(10月31日)		冬季休業(12月24日～1月4日)			春季休業(3月11日～31日) 卒業式(3月10日)

第13回

桜蓮祭

平成26年11月1日

笑顔 ~Share from the heart~

Student Activities On The Campus!!

! Campus Life !

Check!!

少しだけ学生たちの活動を見てみましょう!



第13回 桜蓮祭

2年生 実行委員長

平成26年度第13回新潟県立看護大学桜蓮祭は、「笑顔~Share from the heart~」をテーマに掲げ、開催しました。昨年の桜蓮祭では、多くの学生が地域との関わりを実感し、より地域に貢献し、医療・看護を活性化しようという意欲と向上心を感じることができました。今年度も、そのような地域の方々との関わりがより一層深まり、本学の魅力に気づいていただけることを期してこのテーマに決定致しました。

さて、今回の桜蓮祭では、今年度開業予定の北陸新幹線を記念した桜蓮祭ウルトラ企画として「新幹線ウルトラクイズ」を行いました。ゲストとして、上越忠義隊けんけんずも出演し、盛り上がりを見せていました。また毎年恒例であるエアロビ、ダンス、よさこいサークルなどによる一般公開や、この看護大学の特色を際立たせる「ハカレンジャー」や献血活動など、地域に根差した看護



大盛況のビンゴ大会

護大学としての活動や学生が日頃の学習により培った技術と知識或いは経験を表現する機会となり、そして何より地域の方々も学生も笑顔溢れ



新幹線ウルトラクイズ
ゲストの「けんけんず」の登場で、会場は大盛り上がり!

楽しむことのできる場として、今年度桜蓮祭の幕を無事閉じることができたと考えています。

最後になりますが、今回の桜蓮祭の開催にあたり、企画・運営まで様々な方々からのご協力やご支援を頂きました。この桜蓮祭運営を通してご協力やご支援を頂いた地域の方々と各事業者様並びに教職員、桜蓮祭実行委員及びサークル員その他学生の有志の方々に、桜蓮祭実行委員長としてお礼を申し上げます。



バンド演奏
それぞれのパフォーマンスに大歓声。



厨房(調理実習室)
おいさで大評判!
模擬店の人気ぶりに、厨房は大忙し。



看板娘♡たち



エプロン姿も決まっています!



茶道
「結構なお点前でした」そんな言葉にほほえみながら……、和服でちょっと緊張気味です。



ハカレンジャー
健康チェック!
たくさんの皆様からご協力をいただきました。

オープンキャンパス

平成26年8月1日・26日

オープンキャンパスが開催されました。今回から食堂をオープンし、参加者から看護大の「いちおしカレー」を味わってもらいました。また、夏休み中ではありましたが、「在学生との懇談」で参加者へのアドバイス、体験授業での実習補助、施設見学での誘導作業やダンスパフォーマンスの発表等で多くの学生から協力を得ました。



「ようこそ!」先輩たちによる歓迎のパフォーマンス



学長訪問



未来の看護を担うべくたくさんの皆様が参加して、学生生活のいろいろな面を体験しました



命を守る現場を体験



学生食堂の「いちおしカレー」も美食体験



ガイダンスに真剣に聞き入ります

学生との意見交換会

平成26年12月17日

1～4年の学生と学長、副学長などの大学を代表する教員、事務局職員が出席して開催されました。会では、多くの意見、提案が出されました。大学がより良い方向へ進んでいけることを考えながら、貴重な意見の交換の場としました。



大学生活をより充実させるために、貴重なひとこと。



真剣で誠意ある意見が飛び交いました。

平成26年度 卒業式



後援会の主な事業

会員相互及び大学との連携

総会を年1回、入学式当日に行い、毎年度の事業計画を決定します。
年2回、「後援会だより」を発行し、学内での学生活動などを紹介しています。

学生自主活動推進事業

学生が自主的に運営している自治会、桜蓮祭(大学祭)、継燈式、球技大会への助成を行います。

学生教育振興事業

1年次に購入する実習衣、実習に伴う雑費を補助します。

学生福祉増進事業

学生食堂及び売店への光熱水費等の補助を通して、食事や清涼飲料水等を低価格で学生に提供しています。
学外オリエンテーション費用の一部を補助しています。

お知らせ

平成27年度 新潟県立看護大学後援会総会

日時／平成27年4月7日(火) 入学式終了後 11:30~12:10
会場／本学ホール



新潟県立看護大学
Niigata College of Nursing

看護学部 看護学科

問い合わせ先／〒943-0147 新潟県上越市新南町240番地
新潟県立看護大学 教務学生課
TEL 025-526-2811 FAX 025-526-2815
E-mail togaku@niigata-cn.ac.jp